

第23回国民文化祭 いばらき2008

《笠間・炎の祭典》

笠間市の地場産物を全国にアピールした「第23回国民文化祭」笠間会場。土、炎、石、自然、歴史、人など、笠間市の文化・芸術の総力を結集した祭典が、10月31日から11月9日までの10日間、笠間芸術の森公園を中心に繰り広げられました。



写真上：笠間焼と生け花のコラボレーション
写真下：まる6日間続けられた登り窯による焼成

昭和61年から、毎年、都道府県持ち回りで開催されてきた国民文化祭が、この秋、茨城県内の34市町村を会場に開催されました。

国民文化祭は、全国の文化・芸術の愛好家や団体が一堂に会し、音楽や演劇、伝統文化の競演を繰り広げる国内最大の祭典。魅力あふれる様々な文化に触れることで、参加者の活動意欲がさらに活性化されることを目的としています。

笠間市では、その優れた地場産物を生かし、「笠間・炎の祭典」と題して、様々な催しが繰り広げられました。茨城県陶芸美術館で全国公募の工芸美術展が開かれたほか、恒例の「匠のまつり」や「いばらきストーンフェスティバル」、「いなだストーンエキシビジョン」が国民文化祭と一体化。また、笠間独自の催しとして、「酒と食と器展」と「花と器と炎展」が開催されたほか、アマチュアバンドによる「坂本九トリビュートコンサート」も開かれました。さらに、特別企画展として、笠間日動美術館、春風萬里荘、茨城県陶芸美術館、笠間稲荷美術館が連携したシールラリー、忠臣蔵ゆかりの全国の11市区町が笠間に集結した第20回忠臣蔵サミットも開催されました。

第101回笠間の菊まつりとその関連行事も同時開催された秋の笠間は、例年にも増して、多彩な催しが繰り広げられました。

- ① 匠のまつり
- ② ストーンエキシビジョン
- ③ 酒と食と器展
- ④ ストーンフェスティバル
- ⑤ 坂本九トリビュートコンサート
- ⑥ 忠臣蔵サミット

